

トランプ米大統領の誕生で

アメリカ合衆国の大統領にD・トランプ氏が就任し連日あらゆる角度から報道されていましたが、予想通り波乱に満ちた幕開け(就任式)となりました。

就任式に留まらず、今後も何かにつけて波風が絶えない大統領の誕生になることは誰もが想像するところです。政治家にあまり興味はありませんが、彼のやり方でひとつ心配することがあります。それは「子どものいじめが増える」と思われることです。日本では各方面の方々が手を尽くし知恵を絞ってその解消に努めていますが、彼の出現でこれからは強い者の「弱い者いじめ」が増えると思われまます。

スポーツの勝者が、試合後のインタビューで「自分が勝てたのはみなさんの応援のお陰です」などとまわりの者への感謝や仲間の気持ちをくんだスピーチを耳にしますが、ほほえましい姿です。しかし、トランプ的発想になると「俺はチャンピオンだ！ どうだ！ 文句があるか」といわんばかりの態度や「弱いから負けるんだ！ 勝った俺は偉いんだ！」「文句をいわずに俺に従え！」となりそうです。残念ですが、彼の姿勢は必ず「子どもに伝染」します。つまり、優位な立場の子が「友達への思いやりの心」を持たず我を通すとそこには簡単に「いじめ」が発生します。大変残念なことです。防御策は「いじめに強い子」になるしかない？かも知れません。

まっく体操クラブ 向井 忠義